

2022年度 学校法人 三幸学園 仙台リゾート&スポーツ専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 寺澤 正典

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・学校全体の共通目標として「一体化」を掲げ、教職員全体が一体となり、生徒により良い教育提供をしていく事を念頭に日々学校運営に従事した。また教務においては以下の内容の目標・計画を掲げて取り組んだ。

【教務目標】『PRIDE』

【在るべき教職員像】授業、生徒指導、教育内容などを通じて育成した生徒に誇りを持つ事

【在るべき学生像】授業、教育内容を通じて、自分自身、クラス、教職員に誇りを持つ事

【定量目標】

(1) 退学率 4.5%以下(退学者アンケート回答率向上)

＜結果＞6.8%

(2) 精皆勤率全学年年間 65%

＜結果＞年間 55%

(3) クラスアンケート【熱意や愛情を感じられますか】の数値が 3.6 以上の獲得

＜結果＞3.40

(4) 授業アンケートの各数値平均 3.65～3.70 の獲得

＜結果＞全項目が 3.65 以上の数値を獲得

【具体的施策】

① ハイパーQU を 2 回実施後、意図的な面談の設定(6 月と 10 月)

→ 生徒の状況を把握しモチベーションを向上

② 生徒情報管理シートの作成と一元管理

※アルバイト/奨学金/特待生種別/生徒情報/モチベーション等

→ 情報を積み上げて現状把握

③ 保護者への連絡(4 月と 10 月)

→ 連携を取ることで生徒指導に繋げる

- ④皆精勤率を1カ月に1回算出し、生徒個人へ開示
→生徒の状況把握や、生徒へ現状を伝える
- ⑤新任講師に向けた研修の実施(年始に2回)
→キャリアのある講師と遜色ない教育の提供
- ⑥教職員の授業見学を実施し、見学結果をフィードバック
※授業実践ガイドブックを活用
→授業力向上と指導基準の統一
- ⑦クラス運営におけるポイント勉強会の実施
→指導力向上
- ⑧早期(5月又は6月)にクラスイベントの実施
→学校愛、クラス愛の醸成
- ⑨第2回3回全体会議にて各目標と目指す人材育成像に対して振り返りの設定
→現状の把握と教育方針の再認識に伴う更なる教職員の一体化
- ⑩学科会議(スポーツレナー科)の実施
全体会議以外の日時で、クラスの情報共有※統一事項の確認
→生徒情報の共有と指導基準の統一
- ⑪講師への情報共有ツールの確立
Sanko Gateの1Wayでは無く、他ツールによる2Wayのコミュニケーション機会を設定
→生徒情報共有の迅速化

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

業界のトレンドが絶えず変化する中、目標や目指す人材等を踏まえ、生徒のニーズに沿う教材等は何かを更に意識しながら方向付けや生徒へ提供していかなければならない。

② 今後の改善方策

新学期のスタート時に、業界理解や業界人に触れる機会などを設定し、生徒が将来の職業観をイメージ出来るようにしていく(業界説明会や、業界で活躍している卒業生講話など)。

③ 特記事項

入学初期には、先駆けて業界で活躍している人材の講話(動画)の視聴機会を学校行事の中で実施している。

(2)学校運営

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

学校の運営方針を浸透する機会は年度初めの会議等で設けているが、法人としての方向性や考え方を浸透する機会は近年も含め設けられていない為、情報発信ツールや会議の場で時間を取る必要がある。

② 今後の改善方策

教職員一同が集まる会議、定期的に行われる職員会議で法人としての考え方の浸透機会を定期的を設定していく。

③ 特記事項

年に2回、法人職員が一同に集う会議があり、そこで学園長及び理事長から事業戦略及び、機能戦略について話を頂く機会がある。

(3)教育活動

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われて	3

いるか	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

2023年度よりスポーツITトレーナー科が開設された。講師・生徒ともにICTを使用した授業内容の定着と1年後の就職先が課題となっている。就職を含めた企業連携、業界理解が必要となる。また、スポーツビジネス科の卒業生アンケートの向上については引き続き対策が必要となっている。

② 今後の改善方策

授業カリキュラムにおいては、学んだ事をアウトプット出来る機会として現場実習や企業と関わる機会を増加させる事、授業講師においては、改めて業界関係者の人材開拓を実施していく。また、キャリア支援においては、生徒の希望ニーズを把握し、ニーズに沿う求人を学校が確保していきたい。

③ 特記事項

特になし

(4)学修成果

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

就職率は生徒一人に対して複数担当制を敷くなどの手厚いフォローが結果として結びついてきているが、卒業後の定着率や状況把握などに課題がある。

② 今後の改善方策

卒業後の定着率を上げるために企業や卒業生による業界理解セミナーなど、キャリア形成のための学ぶ機会を設ける。また、昨年度より卒業生に対して連絡ツール(LINEグループ)を使用し、状況把握を図るツールとしても活用しているが、引き続き継続していく。

③ 特記事項

現在、三幸学園の同窓会組織において在り方や考え方の見直しが図られており、今後卒業生を資源とした具体的な取り組みを推進していく予定である。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

2022年度、同窓会を実施したものの参加者が少なかった。今年度は、参加しやすい曜日や時間帯などを卒業生へヒアリングしていく必要がある。

② 今後の改善方策

卒業生が出席可能な同窓会日程を候補として設け、事前に卒業生へ参加可否を確認し、出席率を上げていくと共に、卒業生が同窓会に出席するメリット(学びの機会や講師との交流)を検討していく。

③ 特記事項

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

校舎の老朽化に伴い、施設での経年劣化の備品等が発生しており、大規模な現地調査が必要になってきている。

② 今後の改善方策

2023 年度中に、校舎の大規模な現地調査を行った上、適正な教育環境となるよう適宜、修繕等を実施していく。

③ 特記事項

2023 年度において海外研修(アメリカ)が開催される予定である。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

学校の周知を目的とした SNS における学校露出機会を増やし、学校認知を更に向上させる必要がある。

② 今後の改善方策

適材適所により、若手人材における SNS の運用を積極推進していく事と、見る視点に立った、情報更新を実施していく。

③ 特記事項

学園で設置されている地域広報室や、各高校と連携を取りながら、高校生の進路活動サポートを実施している。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

関係法令にて義務化されている自己評価とともに、評価結果の公開を継続していかなければならない

② 今後の改善方策

自己評価ならびに学校関係者評価の結果からの運営改善とともに公開を進める。

③ 特記事項

産学連携による教育の充実を図っている中で、職業実践専門課程への対応を視野に入れて法令を遵守する。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

産官学連携の内、官にあたる行政や地方自治体との連携による社会・地域貢献、課外活動機会を模索していきたい。

② 今後の改善方策

学校の所在区でもある宮城野区様より、区役所前の広場での縁日イベントの案内を頂いている為、学生の活動先の一つとして確立していきたい。

③ 特記事項

2022年度までの間で、主だった活動は特に無。

(11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4
学内で適切な体制が整備されているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

法人の留学生サポートセンターとも連携を図り、万全な受入体制を維持していきたい。

③ 特記事項

特になし